

## リズムをつなげて わくわく楽しい おまつりの音楽をつくろう！

男子 9名 女子 11名  
計 20名

## 1 題材のデザイン

## 題材について

- 本題材は、小学校学習指導要領音楽内容A表現(3)ア(イ)「音楽づくりの活動を通して、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつことを身に付けることができるように指導する。」を受けて設定されたものである。児童にとって身近なお祭りの音楽をつくる活動を通して、音楽の仕組みに関心をもち、音楽づくりの基本的な力を身に付けるのに適した題材である。
- 音楽づくりの3つの視点に着目し、友達と試行錯誤しながらお祭りの音楽をつくる活動を取り入れることで、本校で育成を目指す資質・能力が育むことができる。

## 児童の実態

- 本学級の児童は、これまで「はくのとまりをかんじとろう」を学習し、2拍子と3拍子の簡単なリズムづくりを経験している。学習の振り返りアンケートでは、友達とリズムを作る学習は「楽しかった。」と回答した児童は100%であった。
- 本題材に関わって、児童は手・足・膝の使い方を工夫し、拍の流れにのって友達と合わせたり、リレーをしたりして、簡単なリズム打ちをする学習をしてきた。しかし、音符や休符を用いたリズム譜を使い、何通りかのリズムを組み合わせる学習は初めてであるため、抵抗を感じる児童もいることが予想される。

## パフォーマンス課題について

- 本題材では、お祭りの音楽を友達と作り、下級生の前で演奏することを目標にすることで、低学年の児童が音楽をつくることに興味をもち、楽しみながら音楽づくりができる能力を育てることをねらいとしてパフォーマンス課題を設定した。お祭りの音楽は、日本の伝統音楽であり大勢が共通の拍にのってリズムを演奏することが多く、お祭りを盛り上げるために重要な役割を果たしている。子どもたちが暮らしている安浦町のお祭りを想起させ、身近にある色々なお祭りの音楽を知ることを通し、児童の学習意欲を高め、主体的、協働的に取り組めるよう設定した。

## 思考を深める指導のポイント

- 色々なお祭りの音楽を比較したりリズムを分類したりし、お祭りの音楽の特徴を捉えさせる。短いリズムの繰り返し、掛け声や合いの手、音に強弱があることがお祭りらしさを引き出していることをつかませ、3つの視点に整理する。3つの視点に沿って、個人で音楽を作り、次にグループで持ち寄り一つにまとめる活動を取り入れる。
- リズム譜への抵抗を少なくするために、リズムを色分けしたカードを作成し、可視化できるようにしたり、「ドンドコ」のような口唱歌を取り入れたりとすることで、親しみやすくさせる。


## 2 題材の目標


- ・反復を生かしたリズムの組み合わせを工夫してお祭りの音楽をつくり、2拍子の拍の流れにのって、友達のリズムに繋げて太鼓で演奏することができる。【知識及び技能】
- ・リズムの働きが生み出す良さや面白さを感じ取って、反復を生かしたリズムの組み合わせを試しながら、どのようにしてお祭りの音楽をつくるか工夫して表現する。【思考力、判断力、表現力等】
- ・太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽に親しむ。【学びに向かう力、人間性等】

## 3 題材の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①リズムの反復について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 ②設定した条件に基づいて、リズムの反復や組み合わせ方を生かしながら、リズムを選んだりつなげたりして、表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。	①リズムの反復や組み合わせ方について、それらの働きが生み出す面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して、音楽づくりの発想を得ている。	①リズムの反復や組み合わせ方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。

#### 4 題材計画（全10時間）

次	時	学習内容	評価規準（評価方法）		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一	1	<b>課題の設定</b> 安浦のお祭りや、昨年度の4年生の太鼓の演奏を思い出し、お祭りの音楽の特徴に興味をもつ。 パフォーマンス課題を設定し、学習課題を立てる。	○知・技①（発言、ワークシート）		
二	2	<b>情報の収集</b> 色々なお祭りの音楽をきき比べ、似ているところと違うところに気付く。 比較する	◎知・技①（発言・ワークシート）		○態①（行動観察・ワークシート）
	3	反復を生かしたリズムを使って、個人個人で8小節の音楽をつくる。	◎知・技②（行動観察・ワークシート）	○思①（行動観察、ワークシート）	
	4	<b>整理・分析</b> グループで個人が作った音楽を紹介し合い、それぞれのリズムの特徴を基に考えながらつなげる。 関連付ける			
	5	3つの視点に沿って前時の音楽と比べながらグループで音楽を工夫し、アドバイスを伝え合う。 (1) 比較する 関連付ける			
	6 (本時)	3つの視点に沿って前時の音楽と比べながらグループで音楽を工夫し、アドバイスを伝え合う。 (2) 比較する 関連付ける		◎思①（行動観察、ワークシート）	
	7・8	<b>まとめ・創造・表現</b> パフォーマンス課題に取り組む。 ・グループで修正し完成させる。 ・全体で発表し合い、グループごとの違いやいいところを交流する。	◎知・技①（発言・ワークシート）	○思①（行動観察、ワークシート）	

9	実行	1年生の前で発表する。		◎思①（パフォーマンス課題）	
10	振り返り	学習を振り返り，次時の課題（学習発表会）への意欲につなげる。		○思①（行動観察，ワークシート）	◎態①（発表・ワークシート）

※指導に生かす評価を行う代表的な機会については「○」を，その中で特に学級全員の児童の学習状況について総括の資料にするために記録に残す評価を行う機会には「◎」を付けている。

## 5 本時の学習（本時6／10）

### （1）本時の目標

リズムの反復の面白さを感じ取りながら、演奏の仕方を工夫して、グループでつなげることができる。

【思考・判断・表現】

【主体的に学習に取り組む態度】

### （2）学習の流れ

	学習活動 (○主な発問・予想される児童の反応)	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
つかむ	1 前時までの学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンス課題とのつながりを確認する。</li> <li>音楽づくりのポイント（3つの視点）を整理する。</li> </ul>	
	2 めあてをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までにできていたことを基に本時のめあてを考える。</li> </ul>	
	つなげ方をもっとくふうして、わくわくするおまつりの音がくにしよう。		
考える	<b>学び合い①自分の考えをもつ</b>		
	3 もっと工夫することを、自分なりに考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時のアドバイスを基に、更に工夫できることを一人一人考え、ワークシートに書かせる。</li> </ul>	
	<b>学び合い②比較・関連付けながら思考する</b>		
	4 グループで練習する。 比較する 関連付ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人で考えた工夫を、グループで交流する。</li> <li>前時の録画をタブレットで観たり、アドバイスを見直したりしながら、本時のグループの工夫を確認させる。</li> <li>練習と修正を繰り返す。</li> </ul>	
	○もっとわくわくするお祭りの音楽にするために、さらにどのような工夫をしたらいいでしょう。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>もっとかけ声を増やす。</li> <li>リズム打ちの人数を変える。</li> <li>だんだん強くして終わる。</li> </ul>		
深める	<b>学び合い③考えを広げたり深めたりする</b>		
	5 グループごとに発表し、いいところと工夫するところを伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアグループで交流する。</li> <li>本時に工夫したことを伝えてから発表する。</li> <li>音楽づくりの3つの視点にそって、アドバイスさせる。</li> </ul>	友達のアドバイスをもとに、自分に必要なことを選び、どのように音楽をつくるかについて思いをもっている。
	6 ワークシートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドバイスの中から、自分が必要だと思うものを選択し、ワークシートにまとめさせる。</li> </ul>	【思・判・表】 (ワークシート分析、発言)
振り返る	7 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめたことを全体で交流する。</li> </ul>	
	○ いいところは、リズムのくりかえし方がもり上がるリズムになっていたことで、工夫するところは、かけ声をもっと大きな声で言うことです。		
	○ よかったところは、友達と上手につなげることができたことで、工夫するところは、もっとつよさをかえるところです。		

8 振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動をして、気付いたことや友達の良かったところを発表し合う。</li> </ul>	<p>音楽づくりに興味をもち、友達の演奏の仕方から学ぼうとしている。</p> <p>【態】 (ワークシート分析、発言)</p>
---------	--	---

## 6 板書計画

**リズムをつなげて わくわく楽しい おまつりの音楽をつくろう！**

**め** つなげ方をもっとくふうして、わくわくするおまつりの音がくにしよう。

**学しゅうのながれ**  
 ① じぶんなりのくふうを考える  
 ② グループかいぎ (1回目)  
     グループのくふうをかくにん  
 ③ れんしゅう・くふうタイム  
 ④ はっぴょう・アドバイスタイム  
     (ペアグループ)  
 ⑤ はっぴょう・アドバイスタイム  
     (ペアグループ)  
 ⑥ グループかいぎ (2回目)  
     アドバイスをまとめる  
 ⑦ まとめ (はっぴょう)  
 ⑧ ふりかえり

くらべる

つなげる

前時

前回までの音がくづくり


本時

もっとくふうしたところを赤で


ま

**リズムカード**


いいところ	くふうするところ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムのくりかえし方がいい。</li> <li>・友だちと上手になげた。</li> <li>・リズムをおぼえてうっていた。</li> <li>・だんだんもりあがりわくわくした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっとかけ声を大きくするといい。</li> <li>・もっとつよさをかえるといい。</li> <li>・もっとリズムをわかるようにうった方がいい。</li> </ul>

### 小黑板

**音がくづくりのポイント**

**① くりかえし**  
 一つおき方しき  
 ずっとくりかえし方しき  
 サンドイッチ方しき

**② つよい よわい**

**③ かけ声を入れる**